



2023.10.17(火)  
No. 70  
文責 松永

## ふれあいパーク「逃走中」開催！朝から大盛り上がりでした②

ミッションに挑戦する時間が過ぎたところで、カラーのビブスを着用したハンターがとびだして、逃げる子どもたちを追いかけ始めました。そのハンターにタッチされたら、決められたスペースに留まることになります。ですが、ミッションをクリアした時に手にしたカードがここで役に立つわけです。

「〇年生解放」というカードが本部に届けられると、放送で伝えられ指定された学年が解放されます。時には、全員解放のカードもあり、それを聞いた子どもたちは、また運動場にとび出していきました。10分間、運動場いっぱいに広がって、追うハンターと逃げる子どもたちとの攻防が展開されました。ハンター役は6年生ですから、低学年には優しくタッチしていました。逆に高学年相手には必死にやり取りする様子が見られました。10分が過ぎ、全員が集合したところで1回戦が終了です。子どもたちの表情には笑顔があふれていました。この攻防が4回戦行われました。私も運動場において、子どもたちの楽しむ様子をずっと見ていました。テレビ番組にちなんで恰好だけでも黒のスーツを着て…笑顔いっぱいの子たちを見ているうちに、私もやりたい！という気持ちが高まってきて、4回戦目にはハンター役として参加しました。「え～っ、校長先生もハンターですか」とびっくりして逃げる子どもがいましたし、残念ながらタッチされた子どもからは「つかまってしまった」と悔しがめる声が聞かれました。息があがっていても、「校長先生がんばって！」の声援をもらおうと、またまた年甲斐もなく張り切ってしまいました。10分は長く終わった後はきつかったですが、楽しさの方がそれを増していました。逃げる側もハンター役もやった6年生は、もっと大変だったかと思いますが、疲れた様子の中にも、充実感に満ちた表情をしていました。教室に戻る子どもたちからも「楽しかったです」「一回も捕まりませんでした」「またやりたいです」といった声が聞かれ、満足気な様子が伝わってきました。すべての攻防が終わったところで、オンラインでの閉会式へと移りました。

